

令和4年度 第1回河川工作物アドバイザー会議資料

令和4年7月26日

オツカバケ川治山ダム 改良工事

林野庁北海道森林管理局
根釧東部森林管理署

平面図 (オッカバケ川)

北海道治山ダム
(H4北海道)
L=96.0m
H=5.5m(2.5m)

1号治山ダム
(S53森林管理局)
L=71.5m H=4.8m

2号治山ダム
(S44森林管理局)
L=49.5m H=4.8m

2号ダムより2.8km上流で魚止めの滝

1号治山ダム

2号治山ダム

北海道所管治山ダム



令和2年10月15日

130cm



令和3年9月21日撮影

150cm



令和4年6月10日撮影

160cm

令和3年10月30日撮影



令和4年6月10日撮影



令和3年10月30日撮影

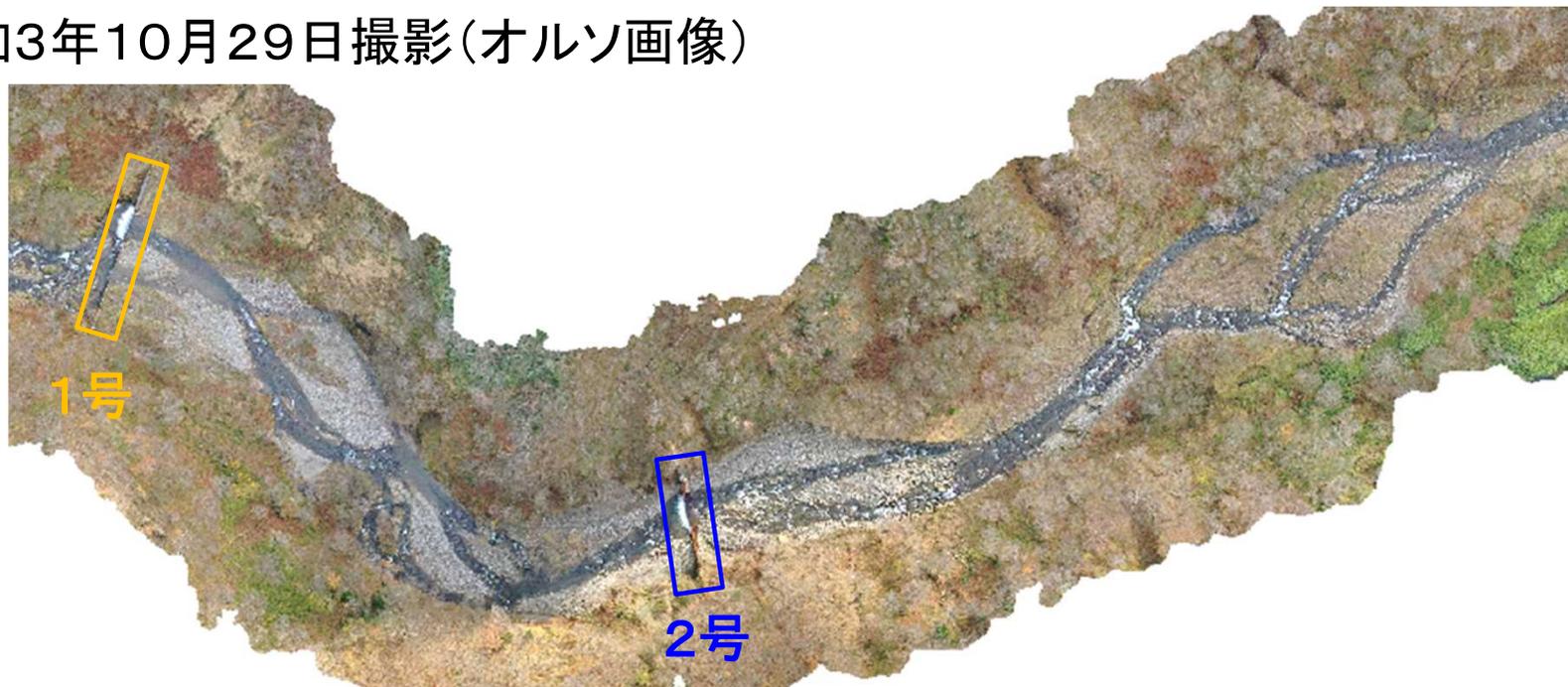


令和4年6月10日撮影



令和3年11月～令和4年6月の局所豪雨等による河道の変化

令和3年10月29日撮影(オルソ画像)



令和4年6月10日撮影(オルソ画像)



右岸側の河道変化（令和4年6月10日撮影）



UAVによる空撮画像による比較

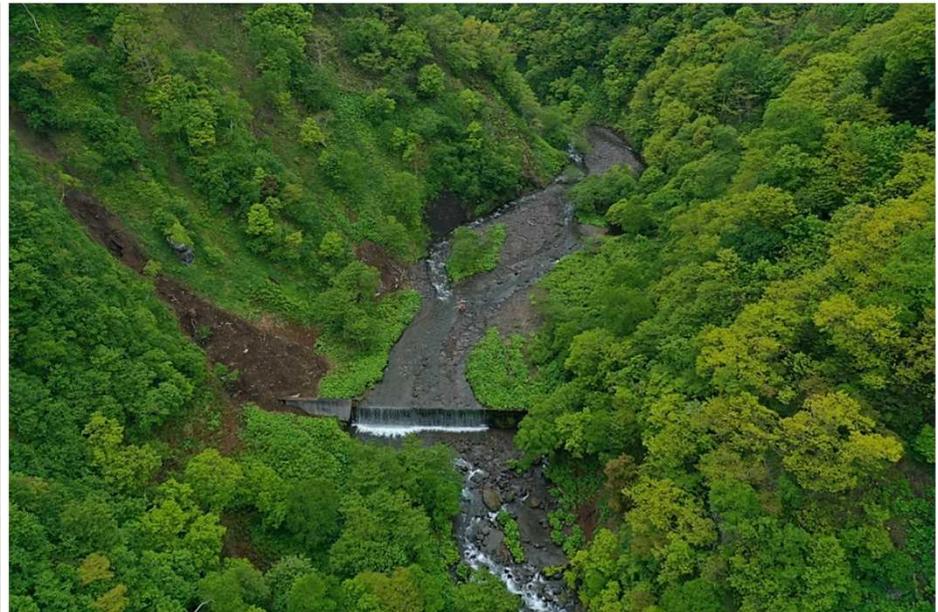
令和3年10月29日撮影



令和4年6月10日撮影



1号ダムから2号ダム



河口側から1号ダム

河川測量等について（1 / 3）

1 縦断測量

- ・昨年度に引き続き、工事実施に伴う河床変化量を把握するため、2022(R4)年6月と10月に縦断測量(1,900m)を実施し、2016(H28)年9月のデータと比較する。

2 横断測量

- ・昨年度に引き続き、第2号ダム切下げによる河床現況状況を把握するため、下流6箇所上流7箇所の横断測量を実施する。また、第1号ダムの改良に向けて、第1号ダムの下流16箇所の横断測量を実施する。

3 水位・流速調査

- ・土砂の流出と水位・流量の関係を把握するため、北海道所管の治山ダムに設置している水位計により観測する。

4 産卵環境調査

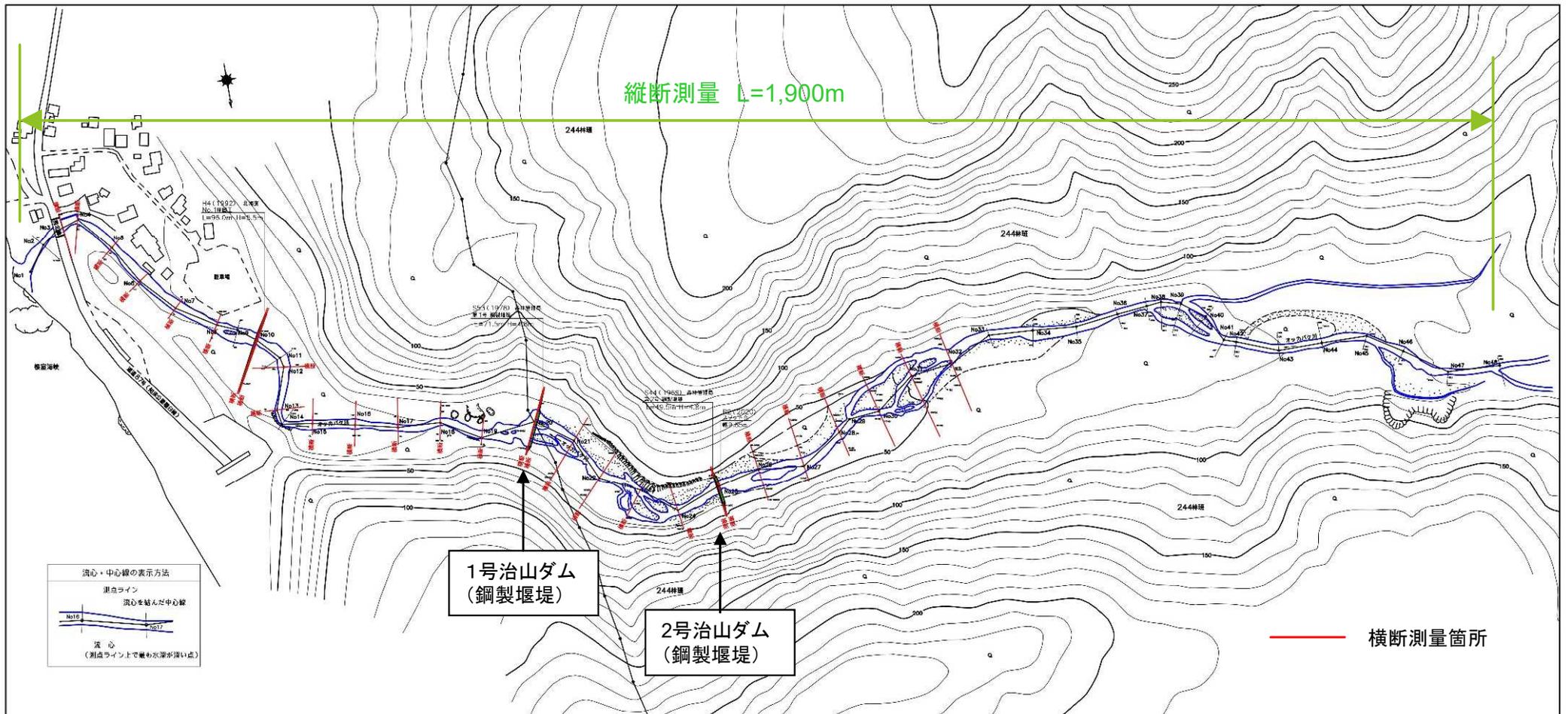
- ・ダム改良による影響区間において、サケ類の産卵適地がどのように変化するかを評価するため、昨年度に引き続き、35横断で優占石礫レンジ、水深・流速調査を実施する。また、第1号ダムの改良に向けて、第1号ダムの下流67横断を追加調査する。

5 河床の定点観測

- ・河床の状況変化を把握するため7箇所23点について定点撮影を実施する。

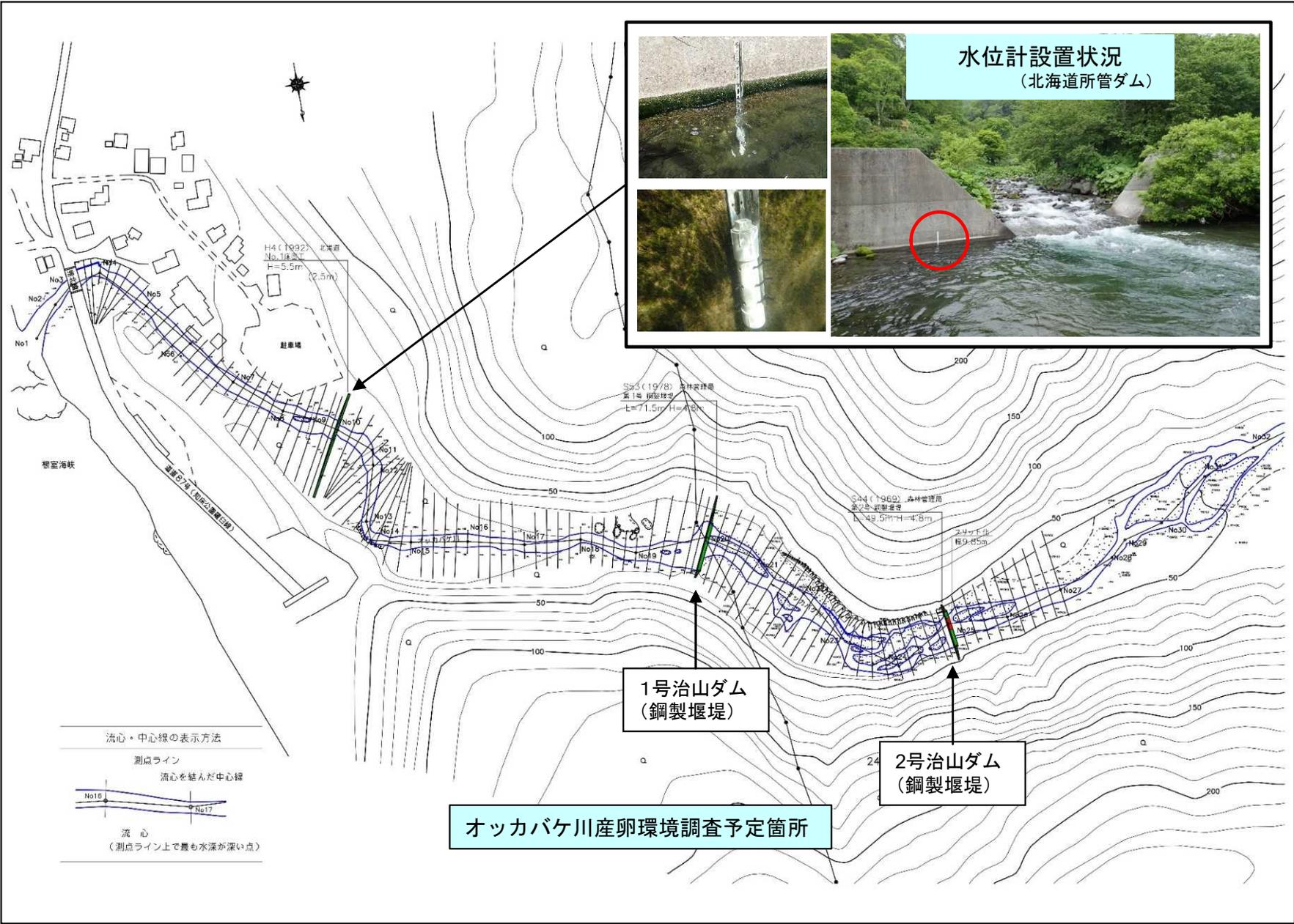
河川測量等について (2 / 3)

縦断測量・横断測量



河川測量等について (3 / 3)

水位・流速調査、産卵環境調査(103ライン)



オッカバケ川治山ダム改良工事における河床の定点観測

撮影位置と撮影方向位置図



地元住民及び漁業者説明会

1回目：令和4年1月17日（月）

参加者：6名（役場、漁業協同組合含む）

2回目：令和4年6月8日（水）

参加者：11名（役場、漁業協同組合含む）

<説明内容>

- ①知床における河川工作物改良の経緯
- ②オッカバケ川の治山ダムについて
- ③2号ダム改良結果について
- ④1号ダム改良検討について
- ⑤シミュレーションについて



地元の主な意見

○ダムの改良については、切り下げによりサケ科魚類の資源向上に繋がると思っているが、一方で切り下げにより土砂が流出し、漁業に被害が出ることを懸念している。1号ダムを切り下げた場合、切下げ前後でダムの機能に影響はないのか。(羅臼漁協)

○これまでオッカバケ川が増水しても下流の橋の通行に影響したことはない。(住民)

○アクセス道を付けてまで改良するのに産卵適地が少なくなるのであれば、アクセス道を付けずに全切で改良した方がよい。(知床財団)

○2号ダム切下げに伴う、土砂流出の影響は特に感じていない。(ホタテ漁師)

○台風や大雨の後には海岸線へ一時的に土砂が出ることはあるが、2号ダムの改良によるものかどうかはわからない。(ホタテ漁師)

○濁り自体ホタテには良くはないが、それが原因でホタテが死ぬようなことはないと思う。(ホタテ漁師)

○『全切』で自然に遡上させるのが一番いいと思う。(昆布漁師)

○近年は各河川でサケの姿を見るのが珍しくなっている。魚の遡上のため、ダムの改良は実現して欲しい。(サケ漁師)

今後の対応予定

(2号ダム改良の評価と1号ダム改良の方向性)

- 2号ダム改良に伴う、直接的な漁業被害の意見はなかった。
- 1号ダム改良に向けては、作業道新設に伴う河川等への影響が危惧され、産卵適地やサケ類の遡上を考えると「**全切**」が良いという意見を多く頂けた。

(1号ダム改良の懸念材料)

- 1号ダム改良に伴い、土砂流出による**漁業に被害**が出ることを懸念している。

(今後の対応)

- HyperKANKO**の**監修**を行い、シュミレーションの有効性を確認し、次回の地元説明会等を通じて説明する。
- 全切(案)においては、2号ダム改良のケースを参考とし、慎重に段階的な切り下げ等を実施する工法等を検討し、次回の地元説明会等を通じて意見を伺う。

工事・調査スケジュールについて

2022(R4)
年度

地元住民及び漁業者の意見を聴取(R4.6.8)

上下流の現況確認のための河川測量、産卵環境調査等を実施予定（※6月～11月）

2号ダム全切後の河川状況及びHypeKANAKOrの結果を監修し、1号ダム改良工事の工法(案)等を検討

地元住民及び漁業者への説明会（予定）

2023(R5)
年度

上記地元理解を得られたら、1号ダム改良工事の設計に着手

2号ダムベースの経過観察

上下流の現況確認のための河川測量、産卵環境調査等を実施予定

2024(R6)
年度

- 1号ダムの改良工事予定
- 2号ダムベースの経過観察及び改良について工法等を検討
- 上下流の現況確認のための河川測量、産卵環境調査等を実施予定